第 2014-15 号

# 恵みと真理のニュース

2014 年 4 月の二次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

## ［証］　一番よい時に、最高の方法で、一番よいものをくださった神様の恵みに感謝を捧げます。

私より先にイエス様を受け入れ信仰生活をしていた兄に伝道され大学一年生の時から教会に通い始めました。その前までは私は世の中でただ一人しかいないという寂しさと明日の生きることに対する不安と恐れ、死の以後の世界に対する黙然とした不安感を持っていたので表向きには強く見えても心の奥底にはいつも不安な生活をしていました。ある日、教会のキャンプへ行って真実に救い主のイエス様に出会いました。説教を聴き聖書を黙想しながら賛美し祈りをする途中で“わたしがあなたを愛する。あなたの罪の許すため十字架を背負った。主の御声が聞こえました。”
イエス様が十字架の上で血を流されたことは真に私のため流された尊い血であることを悟り私のため命まで与えてくださったイエス様のその限りない愛に感謝し主の確信に満ちた信仰の告白をしました。悪くて険しいこの世で私一人ではなく清い全能なる神様が共にいらっしゃって私はその神様の限りない愛を受けている者であることを悟りました。神様の子供は天国で永遠な命と福を享受するようにしてくださり、問題と苦難が多いこの世を生きる時にも助け見守ってくださることが私には言葉で表現できない感動と感激を受けました。このような素晴らしい恵みと愛があるでしょう？
以後、結婚適齢期になり真実な信仰を持った配偶者に出会うように祈りました。その祈りに答えられ 1991 年結婚してサンボンで新婚生活を始めました。
以前に参加した集会でチョヨンモク牧師の説教の御言葉を聴きたくさん恵まれた経験がありましたので区域長に伝道された時にためらいもなく恵みと真理教会に通うようになりました。礼拝を捧げることに神様は御言葉と聖霊で充満になるように恵みを与えてくださり、その間娘と息子を産んで育てるように祝福してくださいました。
熱心に礼拝を捧げながら主のなかで喜んで感謝する私は次々児童区域長と区域長、首区域長の職分を任せられて主にもっと忠誠して仕えられる喜びました。様々な苦難と人生の節目がある時ことに神様が助けてくださり、慰めと力を与えてくださって職分を担えることができました。
10 年前、旦那が今まで通った会社を急に辞めました。最初はそんな旦那が理解できなくて恨みと不満の心がいっぱいでした。しかし、時間が立ってこの事も神様が旦那の信仰をもっと硬く成長させようとした摂理であることを知るようになりました。旦那は自分の能力を発揮する新しい仕事を探しましたが、自分の思い通りできなくて自分の足りないさと無力を悟り完全に神様を信じて頼る聖徒に変わりました。
当時、人間的な考えで失業した旦那の代わりに私でも早く職場を探して家計の足しになるべきでしたが奇異なことでそんな状況でも神様は依然考えなかった聖歌隊で奉仕する心の与えてくださいました。すぐ従順して水曜日 1 部の礼拝の聖歌隊で奉仕しながら主に対する私の信仰と愛と希望がもっと深くなり神霊な喜びが溢れるようになりました。わたしの口は賛美に満ち／絶えることなくあなたの輝きをたたえます。 わたしは常に待ち望み／繰り返し、あなたを賛美します。（詩篇　７１：8,14）賛美をすることに涙をたくさん流して一節一節歌う賛美歌の歌詞と曲調を通して世では得られない神霊な慰めと恵みを受けました。とても神様に感謝しました。その後、神様は旦那に与えてくださったダラントで新しい事業を始めるように導いてくださり今まで旦那の事業の様々な事を助けてくださり導いてくださいます。私も聖歌隊で奉仕してからもう 12 年になりました。
神様は 4 年前わたしたちに広くて良い家をくださいました。しかし様々な問題で家を売らなければならない状況になりました。周りの人々は不動産景気が悪いので売買が難しいと言いましたが、私達は全能なる神様の助けを求めながら断食祈りをしました。
朝早く教会に行くのが難しい時には家で祈って昼には教会に行ってエステルの祈り会に参加して祈り、夜には家庭で時間を決めて祈りました。また、月曜祝福祈り会と金曜徹夜祈り会にも休まずに参加して熱心に祈りました。
“主は世界中至るところを見渡され、御自分と心を一つにする者を力づけようとしておられる。”（歴代下１６：９）という御言葉によって祈りに答えてくださることを信じて神様に切にゆだねながら祈りました。ついに私達の家を買収する人が現れました。急に多くのお金を要った私達が今すぐ売買金額の半分を契約金で要求したら、不動産仲介所では不可能だと言いました。しかし、私は“私が神様に祈っているから必ず私達が求めている条件通りに売買できると思います。その方にそのように伝えてください。”と大胆に言いました。 そしたら、すぐ私達の要求した通りにすると連絡を受けました。神様は私の祈りを答えてくださって備えられた人も送ってくださいました。神様は能力を与えてくださって確信を持って感謝を捧げました。そして感謝する私達にまた新しい家までくださりすぐ引越しするようになりました。
新しい家で引越しした初めの日に家庭礼拝で神様に感謝と賛美を捧げる時に神様は私達に尊い御言葉を与えてくださいました。“ イスラエルよ。今、あなたの神、主があなたに求めておられることは何か。ただ、あなたの神、主を畏れてそのすべての道に従って歩み、主を愛し、心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主に仕え、 わたしが今日あなたに命じる主の戒めと掟を守って、あなたが幸いを得ることではないか。”（申命記 10：12,13）ハレルヤ！
旦那と子供達にも御言葉に従順して今は男性奉仕連合会と中国宣教会と教会学校でそれぞれ熱心に仕えていって神様の恵みに感謝を捧げます。
今までのあいだ全ての生きる中で一番よい時に、最高の方法で、一番いいものを与えてくださった神様の恵みに感謝しながら主が要求するとおりにいつも主を畏れて生きます。
神様の愛を広げ伝える幸せな家庭になるようにもっと熱心に神様を信じ仕えて祈りながら生きます。まだ、救われてない家族と隣りの人々を哀れって福音を伝えることに最善を尽くします。真に良い神様の名を賛美しながら神様に全ての栄光を捧げます。

## ［信仰コラム］　イエスと彼の十字架にくぎが打たれたこと

**″…私があなたの中にイエス・キリストと彼の十字架に打ち込まれなかったことの以外に何も知らないことに決めたんだ″(コリンド全書２:1、2)**

パウロ使徒は言うには″兄弟たちよ私があなたたちにさらに神様の証拠を渡す時に言葉と知恵の美しいことだから私があなたたちの間で、イエス・キリストと彼の十字架に打ち込まれなかったことの以外に何も知らないことに決めたんだ。″(コリンド全書２:1、2)しました。、イエス・キリストと彼の十字架に打ち込まれなかったのは分離することができません。'イエス・キリストと彼の十字架に打ち込まれなかったこと'について三つに分けて見ます。
第一は、キリストがいない十字架に関してご覧ください。
人類愛のシンボルをしたり、社会ボランティア団体の象徴である十字架とキリストが打ち込まれなかった十字架はレベルが違うのです。神様の字架は贖罪の死を亡くなったことを記念するものという意味があります。″イエス・キリストだけが救世主だ。″という真理を否定する人たちが十字架がある教会に集まって自称キリストと言うのは間違いました。そんな人たちがキリスト人ではありません。そういう人たちが言う十字架はキリストがいない十字架です。建物に十字架を何度も付着しておいても聖書に啓示された通り、イエス・キリストを信じない人たちの集まったことは聖霊が一緒にしていないんです。
第二は、十字架と関係がないキリストに関してご覧ください。
十字架と関係がないキリストは聖書に啓示された救世主がありません。2000 年前ガルボリ山、ゴルゴタの丘の上で十字架に打ち込まれて死んでしまったですが 3 日ぶりに復活したイエスだけがキリストです。私たちがイエスの十字架を思い出すたびに彼が流した血に考えるようになるのが当然です。神が十字架に打ち込まれて血に流したこと以外には罪人が救いを得る道がありません。これは父なる神の意味であり、神様が定めた法です。しかし、十字架と関係がない人々が至る所にあちこちあって問題です。彼らはイエス・キリストの教訓が愛であり、その愛は許しと隣のための慈善と主張します。十字架に打ち込まれてキリストを伝えることを忌まわしい福音だと批評します。 十字架とくぎが打たれたキリストの血が福音伝導に障害になると言います。しかし、パウロは″私にはわが主イエスキリストの十字架の以外に決して自慢することがない″(ガルラディア書 6:14)と宣言しました。
第三は、十字架の道についてご覧ください。
'イエス・キリストと彼の十字架に打ち込まれたこと'は使徒たちが伝えた福音の中心でした。パウロは福音を'十字架の道'と呼んでいました。ユダヤ人は政治的なメシアが現れてイスラエルを支配する国を打って勝ってダビデ王国の栄光を回復してくれることを願いました。
そうするため、一時、イエスが行なうことを見て多くのユダヤ人たちが従ったんですが、イエスが逮捕されて十字架に打ち込まれて死亡してみんな散ってしまったです。それで、十字架に打ち込まれて亡くなったイエスの話は彼らに恥じることになりました。知恵を探したハーラ人は理性的に理解できないことは受け入れませんでした。したがって、人間の体を着て苦難を受けている神様という話は彼らに愚かなこととされていました。
しかし、救援を得る者には、十字架の道が神様の知恵と能力です。、イエス・キリストの十字架は神様の愛をすべて満足させるものです。神様の十字架での死は罪人が受ける刑罰と審判を代わりに担当したものです。だから、十字架に打ち込まれて我々の罪を贖罪したイエス様へ行くと神様の審判を免れるようになります。これが神様の智恵です。また、十字架の道は神様の能力です。どのような罪人でも十字架に打ち込まれたイエスキリストを信じさえすれば救いを得るようにしている神様の能力です。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

# 天国への招待

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

ある席に招待を招かればその招待に応じようか応じないかを決めなければなりません．行きたい招待だが都合が不如意で遠慮する場合があります．あるいは行きたくないが仕方なく応じるようになる場合があります．自分が望んだ招待なら嬉しがりながら応じるはずで，すごく栄え栄えしい招待なら万事を差し置いて応じるでしょう．その招待に応じることで大きい打撃を受けるようになる事がある一方にその招待に応じることで良い結果を得るようになる事があります．世の中のどんな招待でも比較されることができない最上最高の招待があります．このような招待を受けることができなかった人はまことにかわいそうな人です．このような招待を無視して断っておろそかに扱う人は甚だしく愚鈍な人です．このような招待を招かれて喜んで応じる人は極めて幸いである人です．

今日は聖書の本文に基づいて “最上最高の招待”に関してよく見ます．

## 第一、最上最高の招待は天国への招待です．

マタイによる福音書 22 章によるとイエスキリストがおっしゃるのを天国はまるで自分の息子のために婚姻宴を施したどんな王のようだと言いました．イエス様は天国がどんな所なのかを説明するためにこんな比喩を持ったのです．復活したイエス様は後日バッモ島に流たくされている使徒ヨハネにいらっしゃって天国がどんな所なのかを詳らかに啓示してくださいました．新しいエルサレムはその都の光が極めて珍しい宝石みたいで碧玉と水晶のように清くて，都の門は１２なのに皆真珠門になっています．都郭は碧玉で積もったし，その都郭は正金なのに清いガラスみたいです．都郭の基礎石はかずかず色宝石で構えました．

都の道は清いガラスみたいな正金です．都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民を癒して回復するようにする生命力があります．新しいエルサレムが加えることができなく美しく飾ったことを現わそうと **“また、聖なる都、新しいエルサレムが、夫のために着飾った花嫁のように用意をととのえて、神のもとを出て、天から下って来るのを見た。”（ヨハネの黙示録 21:2)**で形容しました．天国には喜びを害する要素が一つもないです．死亡がなくて哀痛することや大声で泣くことや痛いのがまたならなくて呪いがなくて夜がないです．

ルカによる福音書 14 章によるとイエスキリストがおっしゃるのを **“宴会”**と言ったし “すべてのものが用意した宴”と言いました．この大きい宴は全面的に私たちの主イエスキリストの神様が準備したのです．イエス様の誕生と生涯と死というおびただしい犠牲そして復活と昇天という奇妙で驚くべきなことがなかったら用意することができない宴です．神様がこのように豊かで美しくて栄えて宴の楽しさがいつもある天国で人生たちを招待しています．

これは最上最高の招待で比べるところない重大な招待です．

## 第二、天国への招待に応じない人々がたくさんいます．

天国宴に招請を受けてからも応じない人々の態度は非常に多様です．そっぽを向いて無視してしまう人々がいます．理由をつけてことわる人がいます．招待に応じないあらゆる理由を言うが事実は心の問題であるだけです．いくら忙しくても宴に行く心さえあったらいくらでも可能です．言い訳をして断る人々は天国よりこの世の中にもっと関心を持っています．俗事にとらわれすぎて沒頭して天国への招待を断ることは未練の極致です．招待を伝える人を迫害を加える者がいます．迫害者たちは神様の震怒を受けるようになって最後の審判台の前で一番恐ろしい審判を受けるようになるでしょう．

天国への招待は何回にかけて続きました．繰り返される神様の呼ぶにはまことと忍耐心が現われています．神様が人生たちを救援しようと呼んだその呼ぶことはエデンから続いて来ました．罪を犯したアダムを向けて “アダムよ，あなたがどこにあるのか?” と呼んで直接たずねて来て救援の道を啓示なさいました．その後で予言者たちを送ったし，使徒たちと福音傳道者たちを送りました．今も聖徒たちを通じて天国宴に参詣しなさいという招待が続いています．それなのにことわる人々の模様はこの前や今にも違いないです．

## 第三、天国への招待に応じる人々がいます．

招待の対象では悪い者と善良な者の差別がないです．人間の基準に仕分けされた悪い者も善良な者も神様の基準で見ては皆が罪人です．聖書には “義人はない一人もいない．” このように宣言しました．ルカによる福音書 14 章には **“町の大通りや小道へ行って、貧乏人、不具者、盲人、足なえなどを、ここへ連れてきなさい”** と言ったし **“道やかきねのあたりに出て行って、この家がいっぱいになるように、人々を無理やりにひっぱってきなさい”** しました．世の中には二つの種類の貧しい者等があります．財物がなくて貧しい者等があります．心の貧しい者等があります．“不具者 たちを連れて来なさい”と言いました．痛いところや障害がなくて元気で活動に自信満満とした人も体が病んで障害が生じれば心が貧乏になるようになります．苦痛と不便がない天国に対するお話に心がひかれるようになります．“道やかきねのあたりにある者”を連れて来なさいと言いました．孤独で疏外された人々を連れて来なさいというお話です．このような人々が神様の招待に応じるようになれば身分と都合がとても変わります．コリント人への第二の手紙 6 章に記録されるのを聖徒たちを示して **“人に知られていないようであるが、認められ、死にかかっているようであるが、見よ、生きており、こらしめられているようであるが、殺されず、悲しんでいるようであるが、常に喜んでおり、貧しいようであるが、多くの人を富ませ、何も持たないようであるが、すべての物を持っている。”（コリント人への第二の手紙 6:9,10)**と言いました．

## 第四、人々に天国に招待するメッセージを伝える者等が実践しなければならない任務遂行の方法があります．

**“道やかきねのあたりに出て行って”** 連れて来なさいと言ったし “十字路道へ行って人に会い次第に婚姻宴に請じて来なさい”と言いました．積極的で能動的に人々に近付いて天国宴に参詣するように導きなさいと指示しました．王は招待を受けられる資格がない者等を招待しました．こんな招待を受けることは実は誰にも夢のような事です．どこでも行って連れて来なさいと言いました．行動半径を拡大して探して出なければなりません．復活したイエスキリストが昇天なさる前に言いつけるのを **“全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。”（マルコによる福音書 16:15)**と言いました．

“強権して” 連れて来なさいと言いました．付いて来なくてはならないようにしなさいというお話です．“連れて来て私の家を満たしなさい” しました．教会は天国の地点です．天国宴の楽しさを先に教会を通じて味わうのが必要です．教会は新しい信者でずっと満たされなければなりません．我が周りにはまだ幾多の人々が神様が予備なさった大きい宴に対して分からない状態にあります．このような人々が天国宴に参詣する者になるように導かなければなりません．福音の傳道と言うのは人々を神様が予備なさった天国宴で導く事です．限りなく栄えて楽しくてふんだんな大きい宴に参詣するように導く事です．

## 五番目、天国宴に参詣するためには必ず礼服を着なければなりません．

各各の人が自ら準備した礼服ではなく王が与える礼服を着なければなりません．神様が天国宴に参加する人々が着るように予備なさった礼服は “イエスキリスト”です．**ガラテヤ人への手紙 3 章 27 節には “キリストに合うバプテスマを受けたあなたがたは、皆キリストを着たのである。”**と記録されました．私たちが神様の前に進むことができるようになったことはイエスキリストでよる義を着たからです．だからその誰も神様が予備なさった “義”を着なくては天国に入ることができないです．招待に応じたが礼服を着ない人々と言うのは誰ですか?キリスト教の本質を捨てて皮相的な物を取る人々です．これらはキリスト教を多くの宗教の中の一つと思う人々です．修養と慈善が信仰生活の最高目的な人々です．教養を涵養して人々と付き合って奉事活動に参加することを信仰生活の本質に思う人々です．そして私的な利益を追い求めて獲得するのが信仰生活の目的な人々です．

イエス様は “天国宴への招待”に対するお話の終りに **“招かれる者は多いが、選ばれる者は少ない”（マタイによる福音書 22:14)**と言うお話で始末をつけました．すべての人が救いを受けるように招待をもらいます．しかし彼らの中に審判を受けて捨てられる四つの種類の人々がいます．そっぽを向いて無視してしまう人々がいます．

理由をつけてことわる人々がいます．迫害を加える人々がいます．招待に応じたようだが実際ではない人々がいます．福音を聞くようになった人は皆 招かれた人です．福音を聞いて聖書どおりイエスキリストを信じる人は選ばれた人です．選ばれた人 は相変わらずイエスキリストを愛します．

皆さんは “天国への招待”を受けた人々の中に 選ばれた人になって極めてきらめき輝いて美しくて豊饒と喜びがあふれる天国で愛する神様と永遠に一緒に住むように願いします．